

2017年2月

JNTO モスクワ事務所開所式典を開催しました

日本政府観光局（JNTO）では、2月16日（木）、在ロシア日本国大使館の協力のもと、15番目の海外事務所となる JNTO モスクワ事務所の開所式典をモスクワにて開催しました。モスクワ音楽院付属「世界音楽文化センター」の邦楽アンサンブルによる箏曲の演奏がオープニングを飾り、鏡開きで JNTO モスクワ事務所および今後の日露交流促進の発展を祈念しました。

昨年12月に開催された日露首脳会談を受けて本年1月よりロシアからの訪日旅行に対して査証発給要件が緩和されるなど、日露相互交流活性化の機運が高まる中での開催となった開所式典には、ロシア連邦観光局や現地旅行業界関係者、メディア等220名に参加いただき、各関係者から事務所開設を歓迎するあたたかい声が寄せられました。

日本からの訪露客が10万人であるのに対し、訪日ロシア人は5.5万人と約半数にとどまっております。松山理事長から四季や日本固有の文化・食など日本の豊富な観光魅力を紹介し、ロシアからの訪日需要喚起を促しました。

また、前日の2月15日（水）に開催された日露観光交流促進協議会では、ガストロノミー（食文化）を通じた双方向交流の拡大などについて議論がなされ、2019年の相互交流人口25万人の達成に向けて、観光交流における連携を強化していく旨、合意しました。



事務所開設を祝い鏡開き



ロシアからの観光誘致への意欲を語る松山理事長